リーディングDXスクール事業 【実践事例】

堺市立堺高等学校（大阪府）【指定校】

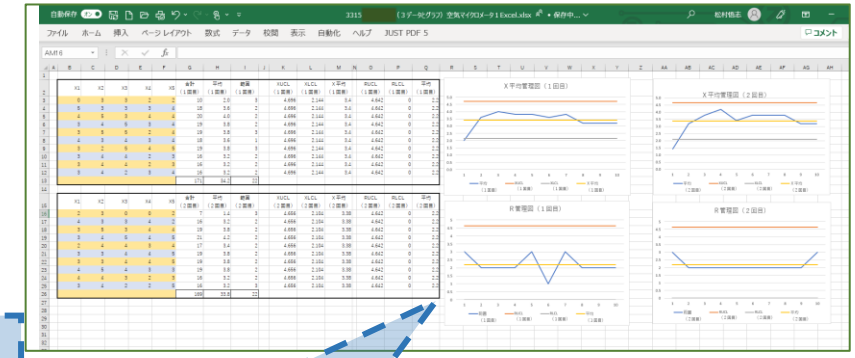
①「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実

【取組内容】 実験レポートを電子化して、考察を充実させる。（Microsoft　Word、Excel、Teamsの活用）

思考をめぐらせた考察を書かせたい！　ワープロ、表計算アプリで省力化と時短を！

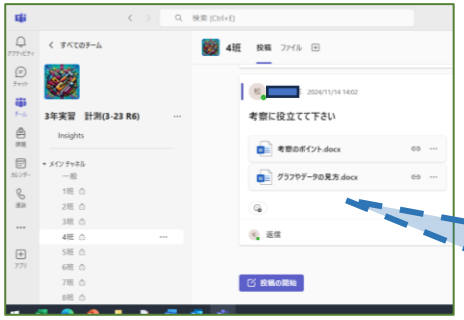
困 これまで、データ表やグラフの作成など、レポートはすべて手書き。 生徒は大変、肝心の考察を書くためめの気力も時間も無くなり、実験から学べることが少ない。

教材をダウンロード。
タッチペンで直接書込み、時短！

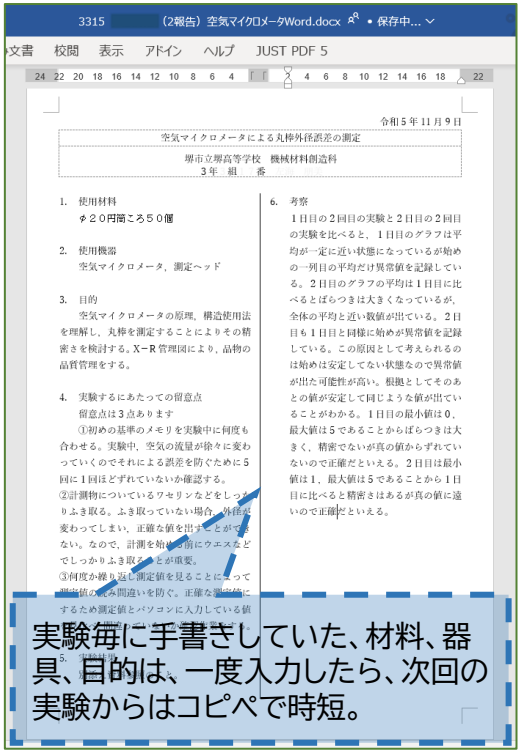


計算、グラフ作成を自動化して、結果が出るまでを時短！

実験データを直接PCに入力！



いつでも、どこでも参考資料にアクセス可能。
クラウドで自宅PC、スマホからもじっくり作成可能。
共同実験者のレポートも閲覧可能。



実験毎に手書きしていた、材料、器具、目的は、一度入力したら、次回の実験からはコピペで時短。

改善
♦コピー＆ペーストで時短成功！　♦途中で授業が終わっても、いつでもアクセス可能で作成できる！
♦情報共有で、考察の生徒同士の話し合い活発に！　♦考察用の資料は常に閲覧可能！
【考え、議論する時間が増え、充実した考察のあるレポートが続々完成しました！】